

◇ビーバー隊通信



10月11日(日)あきのどきどきやま

秋のミニハイク第一回目は、清音ふるさとふれあい広場のグラウンドをスタート地点と した全行程2.6kmぐらいの福山城址ハイキング。標高302mの少し負荷のかかる登りや 10月11日(日)福山城址ハイク すい山です。まず、みんなの様子を見ながら途中の山、幸山を目指しました。

ハイペースで歩きましたが木道をビーバーは、すいすい登っていきます。幸山の頂上 についたときには、吉備路や、総社の街、鬼の城も見えました。みんなで記念撮影した ら、福山城址へ向かいます。そこからの0.8km程は、ゆっくり、ゆる一く森林浴を楽しみな がら登りました。

なの住んでいるところが一望できました。休憩の時にまだまだ元気なビーバーは、ヤッ ホー!ヤッホー!と山の下に向かって叫びます。小さなこだまも返ってましたよ(笑)元気 を使い切った後は、ひたすらくだりの帰り道700m程の木の階段を降りました。みんな足 りに熱中するなどカブ隊らしい楽しい秋の隊集会となりました。(Shinohara) ががくがくです。

山の中は、まだまだ紅葉が少なかったのですが最後グランドに降りるときに周りを見 ると紅葉がちらほら。今回は、足早に登りましたが八畳岩や妙見展望台をみたり、ゆっく り登って頂上でカブ弁でも食べましょう。(Ozaki)





空は晴れて最高のハイク日和となったこの日、福山城址ハイクを行いました。

後期に入り、まずは新組長と新次長の任命式を行い、5組の出席者が少ないためこ の日だけ他の組に編入して4組体制としました。ルートは、五重塔北駐車場向かいの空 き地を出発し、最初に角力取山古墳を目指し、和霊神社・猿田彦神社を通って福山の 頂上へ行き昼食、帰りは八畳岩を通って山を下り作山古墳を通り抜けて北駐車場に帰 福山城址頂上についたら、岡山ドームやマスカットスタジアム、コンベックス付近。みん るものです。和霊神社につく頃に筋肉痛を訴える人もいましたが、みんな福山の頂上に 登る事が出来ました。

久しぶりの山ハイクで、スカウトたちは景色を楽しみ、ドングリ拾いや、虫やカナヘビ捕



10月4日(日)木堂清掃(犬養木堂生家・記念館)

隔月で行っている木堂生家の清掃です。 今回はだいぶん過ごしやすい気候になっ てきたこともあり、草抜きをしっかり行いまし た。小さいどんぐりと、まだ青い何かの実が 落ちていましたね。久しぶりに2015年に植 えたサザンカの木の前で集合写真も撮りま した。その後これまた久しぶりに記念館を 訪れて犬養木堂さんの人となりを勉強しま

なお、清掃奉仕の様子が10月14日の山 陽新聞朝刊岡山市民版に掲載されました (岡山市以外に在住の人、ごめんなさい)。 1994年から25年も継続して行っていたん ですね。木堂生家の清掃はこれからも続け ていきますよ!(ujihira)





10月18日(日)ボーイ隊 | 火起こし・野外工作(撫川グラウンド)

今回は撫川グランドにて火起こし(小6・中1)と立ちカマド(中2)の制作を行いました。 これまでの復習も含めて思い出しながらの作業だったため、きちんと覚えていなければ できない結び方やコツの必要なものについては若干のボロが出てしまうシーンもありま した。火起こしについてもマッチの使い方のほか、刃物の扱い方についても改めて学ぶ ことができたのではないでしょうか。

出来る者は出来ない者に教え、出来ない者は出来る者から教わり、そしてそれをまた 次に繋げていく。この循環が絶やされることなく新たな後輩たちに受け継いでいってほ しいと改めて感じました。次回はキャンプを控えていることもあり、これまでの実力を存 分に発揮できる場にしていただければと思います。(kawakami)



10月25日(日) 片上ロマン街道サイクリング

この日はよく晴れたもののとても寒い朝でした。サイクリングでは毎回何かしらのアク シデントがあり、今回こそは無事故で終わらせたいと願い、気持ちを引き締めて活動 に臨みました。

8時45分に開会式を行い、自転車の準備をしてから9時45分に和気鵜飼谷交通公 園を出発し、和気町佐伯庁舎-苦木駅跡-備前福田駅跡-柵原鉱山公園のコース を往復しました。走行はクマ・シカ・ウサギにグループ分けしました。全走行距離は50k mで、和気鵜飼谷交通公園には15時35分に戻る予定でした。サイクリングは天気に恵 まれ、素敵な和気の自然を満喫することが出来ました。活動を終えてみると、なんと到 着が14時40分であり今までで一番早い記録、さらにアクシデントもなく隊集会を終える 事が出来ました。これは快挙です。

この要因はウサギスカウト達が大変頑張ってくれたことにあると思います。一番懸念 されたウサギスカウト達でしたが、しっかりついてきてくれて尚且つ怪我もなく、隊長と してはとてもうれしい活動を見せてくれました。それから、シカスカウトたちのまとまりの 良さと明るさ。去年の今頃はシカになってしっかり出来るのかととても心配していたの ですが、この日の活動はなかなかの動きでした。クマスカウトはタイムキーパーとしての 役割をしっかり果たし、みんなを引っ張ってくれました。さすがクマスカウトといった感じ です。また、保護者の方々がしっかりサポートをして下さったことも大きな要因の一つで す。心から感謝致します。

今回は、この隊集会に参加した人がそれぞれの役割を果たし、それぞれが頑張っ た結果、最短時間で無事故を成し得たのだと思います。皆様、本当にありがとうござい ました。(Shinohara)

